



金沢サイドワン

野島で磯遊び

6月14日(土)野島公園で磯遊びを行いました。梅雨の時期ということもあり、当日まで雨が心配でしたが…。曇り空のもと、小学生13名、未就学児8名、高校生以上21名の42名が参加してくれました。

参加者には、オレンジのバンダナを巻いてもらい、子ども達は、ライフジャケットを着用し、バケツ・熊手・シャベル・アミを持って、みんな元気に海辺に出発です。

カニ・貝・ヤドカリ・エビ・ゴズイ・シヤコ・アナゴの稚魚もとれました。そしてなんと、塩をふりかけて「マテ貝」としている人達が多く、ビックリでした。バケツにとってきた生き物達を小型の水槽に移し替えて、石段に並べてのミニ水族館が始まり、みんなで観察しました。「これ、僕がとったんだ!」とニコニコな子も。最後に、各自水槽をもって「バイバイ」と生き物達を海に返して、磯遊びのイベントは無事終了しました。



金沢地区

夏休み こどもお楽しみ会



8月31日(日)10時～12時金沢地区センターの駐輪場・体育館において、金沢地区青少年指導員と同スポーツ推進委員の共同イベント「夏休み こどもお楽しみ会」「さわやかスポーツフェスティバル」を開催しました。

駐輪場では、青少年指導員による風船ヨーヨー、スーパーボールすくい、輪投げ、射的コーナー。体育館ではスポーツ推進委員がラダーゲッター、ポッチャ、スカットボール、ボーリング、グラウンドゴルフのコーナーを設け、スタンプラリーを実施しました。この夏も酷暑の日々が続いているため、駐輪場ではコーナーごとにテントを張って

日陰をつくり、送風機を設置したり水をまくなどして暑さ対策を実施しました。厳しい暑さにもかかわらず、約200名ものたくさんの子ども達や家族連れが来場し、大賑わいでした。スタンプカードと引き換えに参加賞を手渡すとき、「楽しかった～!もう一回まわってもいい?」「こんなに子ども達が喜ぶイベントが開催されていたんですね。知りませんでした!」との声をいただきました。「また来年も来てね」と見送ると、笑顔で「うん!」と答えてくれた子ども達も笑顔がスタッフ一同にとって、何よりの褒め言葉となり、暑さも疲れも吹き飛ばす心地よいひとときとなりました。



令和7年度金沢区青少年指導員協議会総会が開催される

5月21日(水)19時から「令和7年度金沢区青少年指導員協議会総会」が金沢区役所3階1号会議室で開催されました。

総会では、議案書の記載内容の確認と貴重な意見がありました。出席者全員の賛同を得て、原案どおり承認されました。また、この席上で、6年表彰者2名が区長から表彰を受けました。

今後は、地区毎に計画した事業を創意工夫を凝らしながら、参加者の笑顔が弾けるイベントになるように努力していきますので、大いに期待して下され。



編集後記

ジュニアサマー金沢や各地区のイベントから子ども達の笑顔や歓声まで伝わったでしょうか。次号でも青少年指導員の活動をわかりやすく伝えます。楽しみにしてください。



青少年指導員だより

金沢区

Youth 21



金沢区青少年指導員
シンボルマーク

発行 金沢区青少年指導員協議会

編集 広報部

金沢区宛電2-9-1 金沢区役所 地域振興課内

電話 (045)788-7805

FAX (045)788-1937



元気いっぱい!ジュニアサマー金沢

8月23日(土)9時30分から「ジュニアサマー金沢」が、金沢市内の12の小学校の3年生～6年生までの生徒23名とスタッフ27名の50名が参加して横浜市野島青少年研修センターで実施されました。

「一日楽しんで下さい」との山崎会長挨拶で始まった開会式後は、酷暑で野島の海に入れない代わりに、23名の子ども達は、「青」「赤」「緑」「青」の4つのグループに分かれ、研修センター内での活動となりました。

まずは、鈴木青少年指導員の指導のもとで、2人1組になって10秒間で知れた情報を自己紹介ならぬ「他己紹介」して、みんなすっかりリラックス。その後、コミュニケーションゲームの「わいわいブロック」大会です。



富岡研修センター長の「情報カードは読み上げるだけで、人に見せたりすることは出来ない」というルール説明後、青少年指導員2グループを加えた6グループは、制限時間50分

で、7つの課題ごとに、4色のブロックと16枚から25枚の情報カードを渡され、ブロックで「山」「船」「UFO」等を作りあげていきます。1つの課題ができるとチェックを受け、クリアすれば、次の課題にチャレンジです。但し、間違えると2点減点です。

結果は、青少年指導員2グループを除いて「青」「赤」「黄」「緑」の成績順でした。7つの課題を見事クリアさせた「青」グループは、「みんな落ち着いていたので、情報の整理が早かった」「徹底して情報確認したこと、すべて一発正解することが出来た」とうれしそうでした。

その後、富岡研修センター長から、野島海岸で見られる生きもの及び干潟観察の際に、気を付けて欲しい「カツオノエボシ」「ゴズイ」等の注意喚起がありました。

昼食をはさんだ午後からは「わりばしてっぼう」大会です。まず、「わりばしてっぼう」を教わりながら各自で作ります。試し射ちの後は、トーナメント戦です。「5点」「3点」「1点」の的を狙って射ちます。決勝戦と順位戦では、1チーム6名ずつで、1名が3発連続で射ちます。「あてろ!あてろ!」「5点!5点!」の熱いコールを受けて、みんな真剣なまなざしです。成績は「青」「黄」「緑」「赤」の順でした。

このイベントを企画した前田行事部長は「子ども達の笑顔を見て、夏休みの思い出の一つになったかな」とこやかに話してくれました。

今年のジュニアサマー金沢も15時に散会しました。



全市一斉統一行動パトロール活動



「青少年の被害・非行防止全国強調月間」である7月に、青少年を有害な環境から守るまちづくりを推進することを目的として、青少年指導員が横浜市内全域を一斉に夜間パトロールしています。

今年も夏休み開始後の最初の土曜日である7月19日(土)に行われた能見台地区の夜間パトロールを紹介します。

能見台4丁目のコンビニエンスストアに22時に集合して能見台6丁目～能見台5丁目～能見台3丁目～能見台1丁目～能見台2丁目～能見台4丁目の順番で各地区の公園、小学校を中心にパトロールを実施しました。

能見台南小学校や能見台小学校、各地区の公園、不動池周辺をパトロールしましたが、能見台地区で夜間に出歩いている生徒や児童に出会うことはありませんでした。

今回の夜間パトロールは5名の青少年指導員で実施しました。2名の初参加さん方も問題なく夜間パトロールが行われたことに安堵したようでした。

23時前頃に4丁目のコンビニエンスストアで解散し今年のパトロールを終了しました。



地区だより

六浦地区

じゃがいも掘り

6月11日(日)よく晴れた朝9時、いつものように瀬戸町内会館に集合して、約200名の参加者が列をなして柴シーサイドファームへ。

狭い歩道なので1列になって他の通行人の邪魔にならないように配慮しながら進んでいきます。帰朝橋、野島橋を渡って海の公園入口休憩所で休み。順調に進んでいます。休憩を終えるといよいよ最後の難関、急な登り坂です。細くて急な登り坂ですが、意外にも車の通行量が多いので「車通りやすい!」の掛け声を何度も繰り返して、道の脇に、避けながら登って行きます。



ようやく山の上にある柴シーサイドファームに着くと、長靴に履き替えたり、靴の上からビニール袋をかぶせたりして準備を整えます。順番に畑の中へ。掘り振られた畝を指定されてじゃがいも掘り本番です。大きいのも、小さいのもじゃがいもがゴロゴロ掘り出されていきます。ビニール袋に入るとズッシリと重くなって、小さい子どもではなかなか

持ち上げるのが大変そうです。

各町内会が用意した車にじゃがいもでふくらんだビニール袋を積んで運んでくれます。じゃがいも掘りが終わればお弁当タイム。お腹が満たされたらジャンケン大会で盛り上がっていました。

収穫したじゃがいもは土が付いたまま風通しの良い日の当たらない場所で保管すれば、かなり長い期間美味しくいただくことができますよ。お試しあれ。



金沢地区

じゃがいも掘り



6月7日(土)に金沢地区連合町内会、社会福祉協議会のご協力のもと、柴シーサイドファームでじゃがいも掘りを開催しました。

例年より1週間遅らせての開催で8町内会、子ども97名、大人57名、役員12名の166名参加で好天の暑い日の開催でした。

柴シーサイドファームを目指し、走川公園から徒歩で出発、海の公園で一休み後、子ども達は「きつい」と言いながらも元気に急坂を登り、みんなで到着出来ました。

じゃがいも掘りも終盤と思われ、畑は少し寂しい感もあり、

さっそく茎を引き抜いても根が付いてくるじゃがいもも少なく、今年はダメかと思いつつ畝の土を掘ると大中小のじゃがいもがゴロゴロと出てきて、子ども達の歓喜の声が上がったと思えば、栄養豊富な土の中からゴロゴロ出てくる元気な虫を見ても悲鳴、後ずさりする子どもが何人もいました。

虫にもめげずに大はしゃぎしながら掘り続ける子ども達の中には「もういいかな、これ以上掘ると重くて持てない」と途中棄権する子どもが現れるほどの超大作のじゃがいも掘りとなりました。

お弁当を食べた後の恒例のお楽しみビンゴ大会で再び大騒ぎしながら特別賞や結合せのお菓子を嬉しそうに受取り、「楽しかった」「また来よう」「重い、叔がきつい」と言いながらも楽しそうに急坂を降りて、事故無く楽しく終えることが出来ました。



金沢南部地区

こども祭り

6月7日(土)金沢南部地区こども祭りを開催しました。当日は好天に恵まれ、110人が参加してじゃがいも掘りを楽しみました。午前9時、参加者は地域の公園で受付の後、町ごとにグループを作り、目的地の柴シーサイドファームまで約1.5kmの道のりを歩きました。

30分ほどで全員が柴シーサイドファームに到着し、説明を受けた後、じゃがいも掘りを始めました。子ども同士でじゃがいもの場所を教えあったり、掘ったじゃがいもをシェアしたりする姿がありました。参加者は作物を収穫する楽しさを味わいながら夢中になって掘り続け、1時間半ほどで畑をきれいに掘り尽くしました。

配布された袋はじゃがいもで一杯になり、参加者は子どもも大人も満足気でした。参加した子どもから、「楽しかった、来年も参加したい」、大人から、「掘るのに夢中で子どもの面顔を見るのを忘れそう」などの感想がありました。



6月の強い日差しの中でしたが、体調不良者を出すことなく、楽しいこども祭りとなりました。



金沢中部地区

遊びの屋台村

7月27日(日)金沢中部地区では「遊びの屋台村」を開催しました。大人28名、子ども50名、スタッフ20名の合計98名が集いました。

毎年恒例のこのイベント、毎年来てくれている人もいるので、去年とは違う何かを、と考え、例年続けていたエコバッグづくりをやめて缶バッジづくり、ポチャや輪投げなど、新しい遊びも取り入れました。コロナ禍前にはやっていたスイカ割り、これも、ビーチボールのスイカで復活。それから定番のヨーヨー釣り。

最初はまず、〇×クイズ。アニメや動物に関する、難問が飛び出しました。それから、2つに分かれて缶バッジ等の屋内とスイカ割り等の屋外に分かれます。独創的な絵の缶バッジがでたり、ポチャという未経験の競技に白熱したり、スイカ割りでも必死になったり、子ども達のいろんな表情を見ることができました。屋内と屋外、一方を全て楽しんだら、反対側へ。子ども達もスムーズに移動してくれました。

全部コンプリートしたら、お菓子などのおみやげを受け取って解散。さて、楽しい夏休みが始まります。

